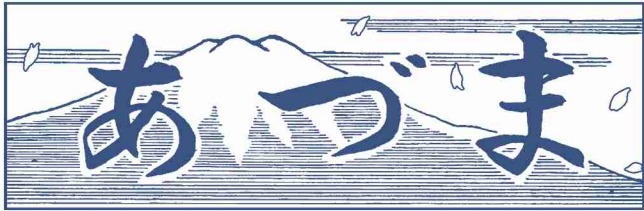


方面	方面隊創立64周年記念行事	(1面)
1師団	師団競技会	(3面)
12旅団	各地で集合訓練	(4面)
1施設団	施設科職種合同訓練	(5面)
関東補処	業計1次指示	(5面)



令和6年3月25日 第1070号

総監統率方針「強靱な東部方面隊の創造」  
総監要望事項「万事作戦を基準」

陸上自衛隊東部方面隊広報紙  
発行所：方面総監部広報室  
住所：東京都練馬区大泉学園町  
専用線：8-37-2446

# 方面隊64周年記念行事盛大に

## 防衛基盤の充実強化図る



国旗に敬礼する観閲部隊



記念会食で乾杯のあいさつをする第38代総監の森山氏



式辞を述べる総監

方面隊は2月23日及び24日、朝霞駐屯地等にお

いて方面隊創立64周年記念行事を挙行政事。本行事は協力者等からの信頼の醸成及び隊員の使命の自覚と士気の高揚を図り、防衛基盤の充実強化に資することを目的としている。

23日は優秀隊員招待行事、方面音楽まつり、歴代総監会同を、24日は総監感謝状贈呈式、記念式典、記念会食を実施した。優秀隊員招待行事においては当初、表彰式において、各部隊等の隊務運営や方面隊の精進強化に多大な貢献をした優秀隊員18人に対して総監が表彰状を授与し、その功績を称えた。その後、優秀隊員及びその家族は、和光市民文化センター「サンアセリア」で行われた方面音楽まつりの演奏を楽しんだ（下部参照）。

歴代総監会同では総監が歴代の元総監に対し、方面隊の現況を伝えるとともに、さまざまな意見を聴取して今後の方面隊の施策の資を得た。総監感謝状贈呈式では功績の著しい個人及び団体29人に対し、総監自ら感謝状を贈呈し、日頃の感謝の意を表した。記念式典では朝霞訓練場において富岡朝霞市長、柴崎和光市長をはじめ、多数のご来賓隣席の下、総監を観閲官として巡閲・式辞を行った。その後、16式機動戦闘車（MCV）や03式中距離地对空誘導弾（中SAM）等の装備品展示を実施し、方面隊の威容を示した。続いて隊員食堂において東部防衛協会、東部方面懇話会及び東部方面隊東校会の共催により記念会食が実施された。多数の招待者等が参加し、約1時間30分の懇談により交流を深め、会は盛況裏に終了した。

関連2面

# NEW GENERATION SYNERGY ～音楽の魔法による光輝く世界の創出～

## 東部方面音楽まつり



迫力ある東部方面自衛太鼓



在日米陸軍軍楽隊との合同演奏



聴衆と一体となった音楽まつりファイナル



透き通った歌声の杉並児童合唱団

方面隊は2月23日、和光市民文化センター「サンアセリア」において令和5年度東部方面音楽まつりを実施した。演奏には東部方面音楽隊、第1音楽隊、第12音楽隊、東部方面自衛太鼓（朝霞振武太鼓、松本アルプス太鼓、北富士天王太鼓及び滝ヶ原雲海太鼓）が参加した。

今回は「NEW GENERATION SYNERGY」の音楽と魔法による光輝く世界の創出」をテーマとして、Z世代、α世代が楽しめるよう選曲して演奏した。各音楽隊によるYOASOBIの「アイドル」、Official髭男dismの「ミックスナッツ」や、東部方面自衛太鼓による「鎗矢（かぶらや）」が演奏された。また特別出演の杉並児童合唱団との共演による「君をのせて（天空の城ラピュタ）」や、在日米陸軍軍楽隊との合同演奏も行われ、日米の絆及び地域との絆をより一層深めた。

当日は2回の公演が行われ、合計約2000人の聴衆が来場し、音楽演奏及び隣接する広場



音楽まつり動画はコチラから

# 写真で綴る 方面隊創立64周年記念行事



国旗掲揚で君が代を独奏する 東部方面会計隊 水谷士長



観閲部隊を指揮する 第1師団副師団長 吉田陸将補

記念式典では観閲部隊が堂々と入場して整列し、その雄姿を披露した。また東部方面音楽隊、第1音楽隊、第12音楽隊及びらば隊からなる合同音楽隊による華麗なるドリル演奏、訓練さながらの迫



一糸乱れぬ演奏及び動作で 観客を魅了した合同音楽隊



観閲部隊を巡閲する観閲官



装備品展示で行われた F-170の空包射撃



装備品展示で行われた UH-1からのリベリング降下

## 観閲官式辞

まずはじめに、本年一月に発生した石川県能登半島地震で、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された全ての方々から御見舞いを申し上げます。

本日ここに、朝霞市長 富岡勝則様、和光市長 柴崎 光子様をはじめ、埼玉県議会議長、朝霞市議会議長、各協力団体、関係機関、防衛関連企業等、皆様のご臨席を賜り、東部方面隊創立記念行事を挙げていただきますこと、東部方面隊所属隊員一同の慶びとするところであり、心から御礼申し上げます。

東部方面隊は、昭和三十五年一月、総監部が市ヶ谷駐屯地に誕生してから、今年で創立六十周年を迎えました。

この間、総監部の朝霞駐屯地への移駐、第一師団・第十二旅団を始めとした幾多の部隊改編を経て、防衛・警備態勢を維持・強化して参りました。

また、現在も活動中である令和六年石川県能登半島地震における入浴支援をはじめ、令和三年には静岡県熱海市での土砂災害、令和四年は新潟県村上市での大雨水害また、各地で発生している鳥インフルエンザ対応といった災害派遣、東京2020オリンピック・パラリンピック支援、新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場の運営等、東部方面隊として各種の任務を着実に遂行してきました。

面隊であるとの認識のもと、何時いかなる場合においても各種事態等に即動し、持続的に活動して任務を完遂し得る「強靱な東部方面隊の創造」を目指しているところであります。

さて、隊員諸官、我々は、かかる厳しい安全保障環境の中、国家・国民からの更なる期待と責務を負ったところであり、諸先輩方が営々と築かれた伝統を継承し、あらゆる事態に対応し得るよう、首都防衛の実効性向上に邁進しなければなりません。

私の要望事項は「万事作戦を基準」である。諸官、いかなる任務にも即応し必ず達成するため、引き続き一人ひとりが常日頃から隊務を「作戦」と捉えて任務を遂行してもらいたい。全員が向上心と責任感をもって隊務に取り組むことにより「強靱な東部方面隊」を創り上げることができると信じている。

最後に、東部方面隊の活動は関東甲信越1都10県、自衛隊協力諸団体及び隊員諸官のご家族のお支えにより成り立っていることに改めて感謝を申し上げます。

今後我々は日々の訓練に邁進し、各種任務を着実に遂行することにより、我が国の平和と独立を守り、地域の皆様へ一層の安心と安全を提供し、共に繁栄していくことを誓いするとともに、今後とも東部方面隊に対する、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東部方面總監 陸将 富樫 勇一

# 第1師団

## 部隊の誇りをかけた熱戦

### 師団全隊員で挑む師団競技会

師団は1月22日から28日までの間、朝霞訓練場において、令和5年度師団競技会（小火器射撃競技会及び駆伝競技会）を実施した。

本競技会では射撃速度の向上、任務に必要な体力の向上、部隊の団結及び士気の高揚を図った。

各競技会に先立ち17日に統裁官訓示を行い、統裁官（師団長）は「全隊員が奮闘し、喜びを分かち合い、士気を高め、団結を強固なものにしてもらいたい」と述べ、参加隊員を鼓舞した。

師団小火力射撃競技会

普通科連隊の部及び普通科連隊以外の部に区分して行い、普通科連隊の部は、至近距離基本射撃、至近距離応用射撃及び対人狙撃銃射撃の3競技を、普通科連隊以外の部は至近距離基本射撃の1コ競技を実施した。

普通科連隊の部の至近距離応用射撃科目では各距離長が指定した56人が、対人狙撃銃射撃科目でも同じく各距離長指定の36人の隊員が部隊を代表し、連隊の誇りを懸けて射撃の精度を競い合う三つ巴戦となった。

至近距離基本射撃の普通科連隊以外の部は5名編



総合優勝を果たし胴上げを受ける総合監督の1普連CSM



ゴール前のデッドヒート



霊峰富士をバックに激走



日々の練成成果を発揮（至近距離応用射撃）



部隊の誇りを懸け全集中で狙う（至近距離基本射撃）



## 任務完遂と無事の帰国を祈って

師団は1月14日に大宮駐屯地で、第21次派遣海賊対処行動支援隊（DGPE）の壮行行事を、22日には同駐屯地において出国見送り行事を行った。

自衛隊は2009年から欧州とアジアを結ぶ航路の要衝であるソマリア沖アデン湾において海賊対処行動に参加しており、シーレーン（海上航路）の安全を確保することで国際社会の安定と平和に寄与している。同隊は海上自衛官との統合任務部隊となり、アフリカ東部のジブチ共和国の国際空港に接続する活動拠点において、その警備を含む維持管理等の任務を半年から1年にかけて遂行する。

派遣に当たり14日に実施した壮行行事において、総監は「万事作戦を基準」に任務遂行の気概を持つとともに、現地の人たちとの信頼醸成と相互理解、健康管理に留意しながら、日本の代表として活動してほしい」と激励した。

また22日実施した見送り行事において師団長は「諸官の勤務は何もないことが一番良いが、何かあった時にはこれまでの全ての訓練成果を発揮して基地を防護してほしい。無事に任務を完遂し、真

## DGPEジブチへ出発

つ黒に日焼けした満面の笑顔と再会できることを楽しみにしている」と述べ、派遣隊員の出発を見送った。派遣隊員は日本の代表たる凛とした姿で堂々と行進、多くの隊員及び派遣隊員家族の激励と盛大な拍手を受け駐屯地を後にした。その後、成田空港では多くの派遣隊員と激励した。

師団長は「諸官の勤務は何もないことが一番良いが、何かあった時にはこれまでの全ての訓練成果を発揮して基地を防護してほしい。無事に任務を完遂し、真



師団長は「諸官の勤務は何もないことが一番良いが、何かあった時にはこれまでの全ての訓練成果を発揮して基地を防護してほしい。無事に任務を完遂し、真

第1師団 検索

記念行事の詳細はこちらから

## 小火器射撃競技会

【普通科連隊の部】  
優勝 第1普通科連隊  
【普通科連隊以外の部】  
優勝 第1偵察戦闘大隊

## 部隊対抗

【普通科連隊の部】  
第1位 偵察中 6分隊  
1区 桂 英二 3曹  
2区 櫻井 龍叶 士長  
3区 山田 航輝 士長  
4区 植松 宏之 3曹  
5区 高野 誠 2曹

## 駆伝競技会

【普通科連隊以外の部】  
第1位 三浦 健太郎 3曹

## 個人普通科連隊の部

【至近距離基本射撃】  
第1位 森田 晃生 2曹  
【至近距離応用射撃】  
第1位 藤田 卓也 2曹

## 個人普通科連隊以外の部

【普通科連隊以外の部】  
第1位 池田 仁 3曹  
▼大須賀 潔人 3曹  
▼吉田 琉生 士長  
▼佐藤 勇太 士長  
▼小泉 賢昇 士長

## 個人普通科連隊以外の部

【普通科連隊以外の部】  
第1位 前川 速亮 3佐  
▼橋口 星貴 3曹  
▼谷古宇 健太郎 3曹  
▼池田 仁 3曹

## 個人（女性自衛官）

第1位 岡本 志保 2曹

## 強い師団を支えるのは中隊長の資質・識能の向上を図る

師団は1月29日に練馬駐屯地において、第2回中隊長等集合訓練を実施した。本訓練は中隊長等の職務遂行に必要な識能を向上させるとともに、師団長企図の徹底を図り、首都機能の維持に係る任務を完遂し得る中隊長等の育成に資することを目的に実施された。

今回の訓練では、首都機能の維持に係る任務を完遂し得る中隊長等の育成に資することを目的に実施された。

また東京都自衛隊家族会会長森山氏（写真）による家族会の活動等に関する説明等を実施し、活動内容を理解させ、有事の際に隊員が安心して任務に従事できるよう、強化・連携の向上を図った。

## 理想は父のような自衛官 一歩ずつおおきな背中を追う



師団は1月15日から2月22日までの間、第1偵察戦闘大隊長を担任官に、令和5年度陸士特技課程（偵察）教育を実施（リベリング降下）の訓練を行った。

斥候員として必要な知識及び技能を修得させるとともに、本特技に必要となる高所スキッドは、練馬駐屯地のレンジャー塔の高所スキッドは、人間が恐怖を感じる高さ約11メートルの位置に設置されている。低所級曹長の姿であった。

初めは緊張する中村士長が、高所に立つとその高さは2倍にも3倍にも感じました」と語るのは32歳の中村士長、父は偵察隊等の第一線部隊で活躍し、現在は第1師団最先任上級曹長の中村准尉である。

中村士長は父の影響で、大学卒業後の令和4年に入隊、理想は父のような斥候員になることと抱負を述べる彼の目つきは父親譲りの鋭い眼光を放っていた。

一方、訓練を実現する中村准尉は、息子の降下を見守る父親の優しい目をしてつも、先輩斥候員としてアドバイスをし、訓練を指導する様子には経験と実力を兼ね備えた師団最先任上級曹長の姿であった。

何度か反復演練したが、高所に立つとその高さは2倍にも3倍にも感じました」と語るのは32歳の中村士長、父は偵察隊等の第一線部隊で活躍し、現在は第1師団最先任上級曹長の中村准尉である。

### 第12旅団

# 旅団各地で集合訓練 空中機動・スキー・格闘の技能修得



航空機の着陸誘導を行う学生



軽装甲機動車の機外搭載



リペリング降下直前の機内

#### ■空中機動指導官

旅団は1月9日から3月1日までの間、相馬原演習場及び相馬原飛行場において、第2普通科連隊長を担任官として令和5年度空中機動指導官集

#### 合教育を実施した。

本教育は空中機動作戦に係る各個訓練の訓練指導能力を向上させるとともに、空中機動作戦を実施する小部隊指揮官等（搭乗長、搭載統制班長

#### 及び着陸誘導班長として

の事実指揮の概要を修得させ、各部隊の基幹要員を育成することを目的に旅団独自に実施している訓練で、平成15年度から行っている。

#### 当初準備訓練として、

担当教官や助教らは第12ヘリコプター隊との認識の統一や教育予行を行い、養成訓練に万全を期した。

#### 養成訓練では旅団隷下

各部隊から集まった被教

#### 育者に対し、空中機動基

礎などの学科教育をはじめ、降下塔や実機を使った搭載・卸下、空中機動、誘導などの実技を修得させた後、訓練指導法、総合訓練及び指導官検定を実施し、23人の空中機動指導官が教育を修了した。

#### 第2普通科連隊は2月

6日から8日までの間、関山演習場において令和5年度第2次基礎となる

#### 対し、冬季の戦闘・戦技

本訓練検閲は1中隊に隊員がそれぞれを任務を確実に理解しているかを

#### 能力を評価・判定する目

的で実施された。訓練開始に当たり戦闘準備点検を行い、背のうしろに組み込まれたアキオ等の点検を実施するとともに、隊員がそれぞれの任務を確実に理解しているかを

## 2普連 冬季戦闘能力の向上 令和5年度第2次基礎となる部隊の訓練検閲

確認した。その後、統制官の連隊長は訓示で「敵を倒して生き残れ」、「基本・基礎の徹底」の2点を隊員らに要望した。状況を開始した1中隊は、6日夕から翌日の7日朝にかけて、約14キロメートルのスキー行進に引き続き集結地を占領し、戦闘準備を開始した。翌日の陣地攻撃のため狙撃班を潜入させ、81mm迫撃砲小隊の迅速な火力支援態勢を確立し、地上偵察による情報収集活動を行い、部隊の損耗を局限しつつ敵情の解明に努めた。8日朝、これまでに判明した敵情をもとに、機動と火力を連携させ、敵第一線陣地に対する攻撃を開始した。1中隊は中隊長以下全隊員が一丸となり、厳しい気象条件のもと、所命の任務を達成し訓練検閲の状況を終了した。

## わっしー&ひよこメジャーデビュー 全国Jキャラ総選挙第5位



わっしー(左)と、ひよこ(右)

防衛省編集協力誌・MA MORが実施した自衛隊ゆるキャラ人気投票(全国Jキャラ総選挙)において、旅団公認キャラクター「わっしー」「ひよこ」(写真)が第5位と大健闘した。本総選挙には全国の陸海空自衛隊マスケットキャラクターが出場した。「わっしー」はまたデビューして半年しか経たない新米キャラクターにも関わらず堂々の入賞(陸自部隊キャラクターとしては1位)となった。今後「わっしー」と「ひよこ」はさまざまな形で紹介される予定。次回のJキャラ総選挙では更なる上位を目指すとともに、国民に親しみが持てるキャラクターとして活躍が期待されている。



14kmに及ぶスキー行進を行う1中隊



前進観測班長と小隊長の火力調整

#### ■スキー指導官

旅団は1月28日から2月12日までの間、関山演習場及び新潟県杉ノ原スキー場において、第2普通科連隊長を担任官とし

て令和5年度東部方面部隊スキー指導官養成集合訓練を実施した。本訓練は東部方面区内の各部隊から選抜され、かつ素養試験に合格した

49人の隊員が参加して行われた。学生たちは斜面技術を始め、遭難者救助要領、スキー行進、宿営等、各科目及び学科における本質の理解と指導要

領を約2週間に渡って学び認定試験に臨んだ。試験の結果、必要な知識を満した学生44人が合格。2月12日に関山演習場大沼廠舎内で行われ

た、き章授与式において、担任官から合格した学生一人一人にスキーき章が授与され、新たな部隊スキー指導官が誕生した。

■格闘指導官  
旅団は1月22日から3月8日までの間、相馬原駐屯地及び新発田駐屯地等において、第30普通科連隊長を担任官として令和5年度旅団部隊格闘指

導官養成訓練を実施した。本訓練は旅団隷下各部隊から20人の隊員が参加して行われ、格闘の心構えや法令教育をはじめ、基礎動作や応用技術に係

る練成訓練を行い、格闘指導官として必要な知識を養成した。旅団は引き続き、格闘訓練を通して至近距離における戦闘能力の向上を図っていく。



認定試験・斜面技術



遭難者救助法の教育・実演



部隊スキーき章授与式



基礎動作についての展示説明



応用技術を用いた訓練



## 12 勇気と希望を与える演奏会 音 榛名女子学園成人式行事支援

第12音楽隊は1月19日、榛名女子学園の成人式祝賀コンサート(写真)において演奏支援を行った。本演奏支援は相馬原駐屯地に隣接する女子少年院で行ったもので、同学園が毎年実施している成人式に第12音楽隊は毎年参加をして、矯正教育を受けている在院者を対象に演奏を披露している。今コンサートでは、アニメ・新世紀エヴァンゲリオン・オーブニング・テーマ曲や「さくら」などの「ディスニー・アット・ザ・ムービー」など、親しみのあるポピュラーな7曲の演奏を披露。改善更正や社会復帰を目指す院生らに、勇気と希望を与える演奏会となった。

第1施設団

# 方面施設科職種合同訓練

## 練度を向上し技術を共有

施設団は1月26日から31日までの間、東富士演習場において令和5年度第2回方面施設科職種合同訓練を実施した。

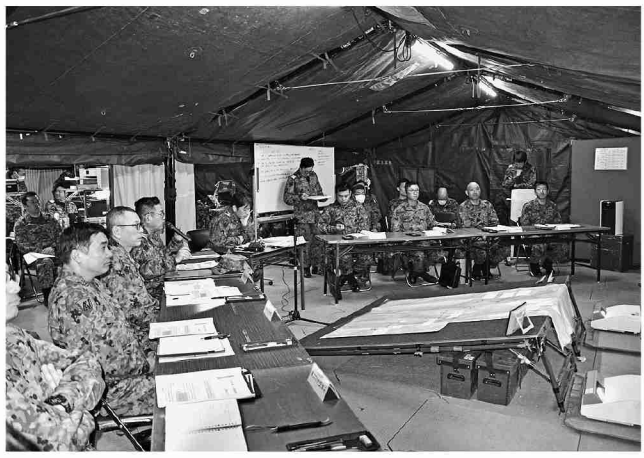
本訓練の目的は、施設技術の練度向上及び共有であり、ドローンを活用した障害処理、現有装備品による橋梁架設、重要

防護施設の防護等を訓練課題として、第1施設団及び師団施設科部隊の協同により実施した。ドローンを活用した障害処理においては、第5施設群が障害の偵察・処

理要領を検証した。橋梁架設においては、第101施設器材隊がパネル橋MGBを、第12施設隊が07式機動支援橋をそれぞれ架設し、架設後の相互研修を通じて橋梁

架設における技術の共有を図った。重要防護施設の防護においては、第4施設群が第1施設大隊との協同により防護施設を構築し、構築手順及び構築技術の共有を図った。

本訓練の総括として、方面区内の各施設科部隊指揮官が一同に会して、職種の現状・課題と今後の在り方について活発な議論を交わし訓練を終了した。



方面区内施設科部隊指揮官等による意見交換会



望楼(監視塔)の研修



ドローンを活用した障害処理の展示(第5施設群)



パネル橋MGBの架設(第101施設器材隊)



07式機動支援橋の架設(第12施設隊)

### 部外講師による講演会を開催

#### 今伝えたいこと〜元自衛官のひとりのこと〜

古河駐屯地は1月23日(株)IHIエアロスペース顧問である元中部方面總監の岸川 公彦氏を講師として招き「今伝えたいこと〜元自衛官のひとりのこと〜」をテーマに講演を行った。本講演には駐屯地所在隊員200人以上が参加し、岸川氏が自衛官当時の経験を踏まえたリアルな話を聴き、職能向上のヒントを得ることができた。



(株)IHIエアロスペース顧問 元中部方面總監、1施設団長 岸川 公彦氏



熱心に拝聴する隊員



隊員の質問

令和6年度は古河駐屯地創設70周年の大きな節目を迎えます!

フォロワー募集中

【X】

関東補給処

## 業計1次指示 方針と企図を徹底

関東補給処は1月26日、霞ヶ浦駐屯地において「令和6年度関東補給処業務計画」の業務計画の

方針等を示し、処務運営に必要な準拠を付与するとともに処長企図の徹底を図った。



訓示を行い企図の徹底を図る処長

処長は業務計画1次指示に当たり、最初に石川県能登半島地震に伴う災害派遣部隊支援及び各部隊・隊員の活動基盤を支える任務を著実に遂行する全隊員を労った。次に令和6年度は防衛力整備計画の2年目であり、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している特性をふ

まえ、共通の危機感と意識を高く保持することを強調したうえで「関東補給処は、国内外の各種事態等に備え、そして即応し、持続力を持って兵站支援任務を完遂する。このため、各種事態を見据え、兵站の実効性向上及び処務運営基盤の強化を重視し迅速性に留意する」と方針を示した。

最後に「各部・各支隊長等の『自らの言葉』による具体的な指導により、全隊員が『誇りと情熱』を保持し『個人の充実に』を期し、令和6年度の処務を遂行することを強く要望する」と訓示を述べた。

### ナンバーワンらっぱ手が決定

#### 選抜隊員練度を競う

関東補給処は2月6日・7日の両日、霞ヶ浦駐屯地において、らっぱ競技会を行った。本競技会は団結の強化及び士気の高揚を目的とし、各部・各支隊等から選抜された46人の隊員が参加した。初日の予選は「送迎の譜」、2日目の決勝では「君が代」「消灯」及び自由曲の吹奏で審査が行われた。参加隊員は緊張しつつ



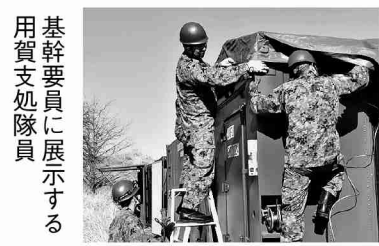
吹奏する選抜隊員

も、選抜された誇りを胸に日ごろの練成成果を遺憾なく発揮した。

用賀支隊は1月23日から2月21日までの間、霞ヶ浦駐屯地及び朝霞駐屯地において、移動式医療システム(Mシステム)展開訓練に参加して技術支援を実施した。本訓練は東部方面衛生隊長を担任官としMシステムの基幹要員に対し、

展開及び操作に関する練度の向上を図り、国際活動任務への円滑な対応に資することを目的としている。

### Mシステムの技術支援実施 衛生科部隊の能力向上に寄与



基幹要員に展示する用賀支隊隊員

https://www.mod.go.jp/gsd1/eae/eadep

×(旧ツイッター) フォロワー募集中!!

陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地@公式 @CampKasumigaura

### 衛生隊

## Mシステムを活用し訓練 衛生科隊員・予備自衛官に教育



Mシステムで訓練する衛生科隊員と視察する総監(右から2人目)



行政副長(中央)に訓練要領を説明する  
衛生隊長(右から2人目)隊員

東部方面衛生隊は1月29日から2月16日までの間、朝霞訓練場において移動式医療システム(Mシステム)を開設し、2月7日・8日、方面衛生科職種合同訓練において東部方面管内の衛生科隊員41人に対し、收容所治療訓練を実施し、また2月12日、予備自衛官招集訓練において予備自衛官(衛生)71人の職務訓練としてMシステムを活用した。

Mシステムは、国際平和協力任務及び国内での大規模災害等の各種事態に際して負傷者等に対する救護支援に活用するものであり、総数41ユニットから構成されるが、本訓練においてははそのうち、手術前処置、集中治療、滅菌洗浄、生体検査、給排水、発電機等の13ユニットを関東補給処用賀支処の支援を受けて事前に開設し、災害想定による訓練を実施した。

本訓練参加者からは「技術向上に資する貴重な経験ができた」「Mシステムの概要を知り、野外における医療活動の理解を深めた」等の所感を得た。

隊は引き続き、方面管内の衛生科隊員及び予備自衛官の練度向上を図っていく。

### シ通群 富樫総監が初度視察



映像伝送装置の説明

東部方面システム通信群は2月9日、富樫総監による初度視察を受察した。

総監は駐屯地に到着し、群長の出迎え及び旗手申告を受けた後、記念撮影を行い、幹部挨拶及び状況報告を受けた。最後に隊内巡視を行い部隊の現状を確認した。

隊内巡視では、群本部長によるヘリ映像伝送装置等の概要説明に続き、基地システム通信大隊長による基地通信効率化の説明及びシステム運営隊長による、方面創立記念行事で使用する受付システム展示説明を実施した。

総監は巡視終了後、駐屯地体育館での訓示において、「システム通信」が現代戦において、今まで以上に重要な機能であることを述べ、隊員に対する激励をした。訓示後、各部隊の功労者に対して一人一人に労いの言葉をかけ視察を終了した。

システム通信群は、これからの如何なる状況においても、常統不断の通信を確保するため、日々、精進するべく決意を新たにした。

### 特科連隊

## 第一線救護能力向上を図る 補助担架員を養成



敵の脅威下での救護を演練する隊員



担架搬送を演練する隊員

東部方面特科連隊は1月29日から2月16日までの間、連隊補助担架員養成訓練を実施した。

本訓練は本部長が隊の第一線救護能力を向上させることを目的として実施された。

参加した隊員は、北富士駐屯地及び東富士演習場で、解剖生理、救急法及び人力搬送に関する基礎的な事項を学んだ後、担架班の行動など実技訓練を通じて、補助担架員として必要な知識・技能を修得した。

教官として参加した本部長衛生班長澁谷一曹は「指導部は『連隊各部隊で活躍できる補助担架員を養成する』という目標のもと、本訓練を実施してきました。今後は補助担架要員自らが、日々訓練に励み、所望の成果を着実に蓄積していくことを期待しています」と述べた。新たに補助担架員の資格を付与された参加者

東部方面特科連隊は1月29日から2月16日までの間、連隊補助担架員養成訓練を実施した。

本訓練は本部長が隊の第一線救護能力を向上させることを目的として実施された。

参加した隊員は、北富士駐屯地及び東富士演習場で、解剖生理、救急法及び人力搬送に関する基礎的な事項を学んだ後、担架班の行動など実技訓練を通じて、補助担架員として必要な知識・技能を修得した。

教官として参加した本部長衛生班長澁谷一曹は「指導部は『連隊各部隊で活躍できる補助担架員を養成する』という目標のもと、本訓練を実施してきました。今後は補助担架要員自らが、日々訓練に励み、所望の成果を着実に蓄積していくことを期待しています」と述べた。新たに補助担架員の資格を付与された参加者

### 後支隊

## 誇り高い支援精神を胸に 新生武器科隊員、部隊配置へ



車両の整備要領を学ぶ新隊員



重機関銃の分解結合を学ぶ新隊員

東部方面後方支援隊は12月18日から2月16日までの間、朝霞駐屯地において新隊員後期「武器」及び一般陸曹候補生課程

17人は各部隊での活躍を誓った。

連隊は引き続き各部隊の衛生科隊員及び補助担架要員を基幹として、戦傷者等を救うための第一線を継続していく。

本教育隊は第104全般支援大隊を基幹として、第1師団、第12旅団、関東補給処及び東部方面後方支援隊各部隊の支援を受け、計12人の要員をもって新隊員9人に対し教育を実施した。

教育担当である第104全般支援大隊長日向

2佐は、教育開始に先立ち「学ぶことを楽しむ」「協同と教導」の2点を要項に掲げた。

新隊員は、約2カ月半、武器科隊員として必要な工具の使用法や部品の作成要領等の共通的な技術及び「装輪車整備」「火器整備」の基本特技の修得を目指し、教育間、日々勉学に励むとともに、団体生活を通じて陸士として必要な資質の涵養に努め、心身ともに大きく成長することができた。

武器科特技を保有する自衛官としての第一歩を踏み出した新隊員たちは、誇りと支援精神を胸に「装輪車整備」及び「火器整備」それぞれの技能向上と自衛官としての更なる成長を約束し、期待と不安の中、新配属先部隊等へと巣立っていった。

# 長野地本 新しい人生への第一歩 5年度インターンシップ

自衛隊長野地方協力本部は昨年9月から今年1月までの間、長野県内の民間企業の協力を得て、定年退職予定隊員に対するインターンシップを実施した。

本インターンシップは、隊員の再就職に係る希望の具現化や再就職後の早期離職防止を図るとともに、受入企業に対して自衛官の有用性を周知する

ことを目的に毎年実施している。今年度は7社の企業において延べ15人の隊員が参加した。

参加隊員は当初、会社概要や業務内容の説明を受けた後、実際にその業務の一部を体験し、民間企業で働くことへのイメージを明確化した。

酒造会社においては、もろみから生酒を絞る「上槽」の準備段階と



酒造会社での就業体験

## ある！ある！自衛隊

byともえ



自衛隊新潟地方協力本部新潟募集案内所は2月8日、エフエム新津のラジオ番組に出演した。

本ラジオ出演は地区担当広報官の内山3曹の発案で行われ、新潟市内、他市町村にも広く自衛隊への理解促進と親近感の醸成を図るためにラジオ局側と綿密な打ち合わせを行い実現したものであ

## 新潟地本 地域ラジオで自衛隊をPR FM新津のラジオ番組出演

これまで隊員が出演してリスナーからの好評を博しており、今回は新潟募集案内所臨時勤務の第30普通科連隊 清水3曹と航空自衛隊新潟救難隊 南澤空士長が出演した。

パーソナリティとの掛け合いによる対話形式で行われ、2人の入隊のき



ラジオの収録に臨む清水3曹(左)と南澤空士長(右)

## 第23回全日本短剣道大会 霞ヶ浦業務隊 長谷川曹長が優勝



霞ヶ浦駐屯地業務隊 長谷川 英昭曹長は2月11日、日本武道館で行われた第23回全日本短剣道大会において、茨城県選抜チームの団体戦大将・

個人戦成年Bの部(36歳以上50歳以下)に出場し、個人戦において優勝の成果を収めた。(写真)個人戦は2回戦で戦車教導隊の時の後輩と当た

り、早々に2本勝ちして勢いをつけ、決勝に進出した。決勝戦では銃剣道選手権大会の準々決勝で敗れた普通科教導連隊の佐藤選手と対戦した。前回の雪辱を晴らすべく積極果敢に試合を展開し、先に2本先取して9年ぶり2度目の日本一に返り咲いた。

長谷川曹長の成年Bの部出場は今大会で最後となり、来年からは成年Cの部(51歳以上)で優勝を目指す。



食品加工会社での就業体験



体験搭乗を楽しむ来場者

自衛隊静岡地方協力本部は2月23日、富士山樹空の森(御殿場市)で開催された第4回富士山樹空の森まつりで広報活動を行った。

本イベントは富士山の空の森まつりで広報活動

味でも非常に有用な取組である」と感想があり、参加隊員、受入企業ともに好評であった。

「実際に会社を見てもらうことによって、事業内容や社風等を理解してもらったことができた」「入社後のミスマッチを防ぐ意

富士山に関する情報発信」「自衛隊との交流」「地域活性化」を目的として開催されているもので、今回自衛隊は87式偵察警戒車・小型トラック・救急車の展示、高機動車の体験試乗、止血法・応急担架搬送体験、富士学校音楽隊・第34普通科連隊らつば隊の演奏会などを行った。

県内を中心に多くの来場者が訪れ、間近で見る自衛隊の装備品に関心を寄せたり、隊員と一緒に写真を撮るなど、会場は大いに賑わった。

静岡地本は広報ブースでオリジナル缶バッジの配布を行い、子どもたちが自衛隊の航空機、艦艇、車両等から好きな柄を葉しげに選んでいた。

また会場内のステージには34普通連の「軽装甲機動戦士イタツマン」、滝ヶ原駐屯地の「たぎすけ」、樹空の森のじゅくうちや

ん、全国的に有名な「ふなっしー」といったキャラクターが時間差で登場したほか、ふなっしーと34連隊長の軽快なトークショーなどが行われ、来場者の注目を一気に集めた。

イベントを楽しんだ子どもたちは「自衛隊の車に乗れてうれしかった」「けがをしても担架で自衛隊さんが助けてくれる」と満足げな様子だった。

静岡地本は今後も、自衛隊への理解を深めてもらえるよう広報活動を継続していく。

## 静岡地本 富士山樹空の森まつりで広報活動 様々なイベントで盛り上げる

私は以前、女性自衛官教育隊において新隊員の班長として勤務させていただく機会がありました。

「新隊員の班長は私自身が入隊した時からの憧れであり目標でもありましたので、話しを聞いた際にはとてもうれしく感じました。しかし教育準備を進めるにつれ、新隊員にとって「初めての先輩・師」となる責任や自身の知識・技術の曖昧さを痛感し、不安も募りました。それもあり準備期間の中で、教育内容の理解、根拠の確認、

生活環境の準備、班の指導方針の確立等、とても苦勞したのを覚えています。教育開始後は教育や指導、班員の心情把握の繰り返しで、あっという間に時間が過ぎていきました。限られた時間での一人一人に合った体力向上方法は何か、あらゆる練習を継続させるにはどうすれば良いか、どんな教育をすれば内容が彼女たちの記憶に残るのか……そんなことばかり考えていた気がします。

総合的に見て「班長」という勤務は、精神的にも体力的にも大変でした。しかし「自衛隊」といって彼女たちにとって全く新しい環境で、悩み、立ち止まりながらも一歩ずつ確実に成長する姿にうれしさと頼もしさを感じることが、私自身が追い越されないようにしなければ、と思えたことは「班長」を経験しなければできなかったと思います。また指導の大切さ、難しさを体感することも良い経験になりました。

今後はこの経験を部隊の後輩育成に生かしていければと思います。教育の際、関わらせていただいた上司・同僚、新隊員の皆様、本当にありがとうございました。

## 訓練所感

東部方面航空隊  
第4対戦車ヘリコプター隊  
3等陸曹 知念 幸奈

生活環境の準備、班の指導方針の確立等、とても苦勞したのを覚えています。教育開始後は教育や指導、班員の心情把握の繰り返しで、あっという間に時間が過ぎていきました。限られた時間での一人一人に合った体力向上方法は何か、あらゆる練習を継続させるにはどうすれば良いか、どんな教育をすれば内容が彼女たちの記憶に残るのか……そんなことばかり考えていた気がします。



新隊員の班長を経験して

# 最先任 上級曹長

## 「人との出会いと繋がり」 第1通信大隊 青木 章敏 准陸尉

第1通信大隊最先任上級曹長の青木准尉です。元年8月に第3師団から異動してきて、3年3月から最先任上級曹長として勤務しています。通信大隊は師団の作戦・戦闘

に必要なシステム通信組織の構成、映像写真業務を実施する部隊です。私が大切にしていることは「人との出会いと繋がり」です。人との出会いは偶然ではなく必然で

あり、何らかの意味があります。また繋がりを通じて生きていくことで必要なことを得られ、いろいろな考え方があり、知

り、人生の幅に広がりが生まれます。しかし人との出会いと繋がりによって得られる

ものは良いものばかりだとは限りません。自分にとってプラスになる場合もあり、マイナスになる場合もありますが、これらから成長するための勉強の一ツとなり、一つ一つを乗り越えることにより人として成長できます。このように良いことばかりではなく、悩み等をもたらす時もありますが、出会いと繋がりを通じて多くのものを得られると思えます。だからこそたくさんの人との出会い、繋がりを大切にして、自衛官人生を楽しみましょう。

に必要システム通信組織の構成、映像写真業務を実施する部隊です。

私が大切にしていることは「人との出会いと繋がり」です。人との出会いは偶然ではなく必然で

あり、人生の幅に広がりが生まれます。しかし人との出会いと繋がりによって得られる

ものは良いものばかりだとは限りません。自分にとってプラスになる場合もあり、マイナスになる場合もありますが、これらから成長するための勉強の一ツとなり、一つ一つを乗り越えることにより人として成長できます。このように良いことばかりではなく、悩み等をもたらす時もあり、出会いと繋がりを通じて多くのものを得られると思えます。だからこそたくさんの人との出会い、繋がりを大切にして、自衛官人生を楽しみましょう。



気合う隊員、合わない隊員等が居り、関係性を良好にするには、信頼、共感、思いやり、尊重が重要ですので、これらを意識して行動することにより、豊かな人間関係を築き自己の成長に繋がります。私は最先任上級曹長に一番し、いろいろな世代の隊員と出会い話をする

# オピニオン 一言申し上げる

## 東方オピニオンリーダー 横瀬 敏也



責任をもって取り組むことに改めて合意しました。残念ながら、日本は未だ賛同を示しておりません。紛争や災害で被害にあってしまうのは無力な子どもたちです。わが国でその脅威から守ってくれるのが自衛隊の皆様です。自衛隊の活動をしっかりとサポートし、地域の皆様

に必要システム通信組織の構成、映像写真業務を実施する部隊です。

私が大切にしていることは「人との出会いと繋がり」です。人との出会いは偶然ではなく必然で

あり、人生の幅に広がりが生まれます。しかし人との出会いと繋がりによって得られる

ものは良いものばかりだとは限りません。自分にとってプラスになる場合もあり、マイナスになる場合もありますが、これらから成長するための勉強の一ツとなり、一つ一つを乗り越えることにより人として成長できます。このように良いことばかりではなく、悩み等をもたらす時もあり、出会いと繋がりを通じて多くのものを得られると思えます。だからこそたくさんの人との出会い、繋がりを大切にして、自衛官人生を楽しみましょう。

オピニオンリーダーの委嘱を受け、最後の年を終えようとしております。私の仕事は幼稚園の園長で、日々、子どもたちの笑顔に囲まれて平和な日常を送っております。オピニオンリーダーの活動や、自衛隊の活動を身近に触れるたびに、平和な日常のありがたさが身に沁みます。

【平和と公正をすべての人に】として、あらゆる争いをなくし、その被害者となる人々を減らすことを課題としていきます。また2020年5月28日、国連総会は毎年9月9日を「教育を攻撃から守る国際デー」とする決議を採択し、紛争下における武力攻撃から教育を守り、紛争下においてもすべての人が安全な環境で教育を受けられるよう、世界各国が

を減らすことを課題としていきます。また2020年5月28日、国連総会は毎年9月9日を「教育を攻撃から守る国際デー」とする決議を採択し、紛争下における武力攻撃から教育を守り、紛争下においてもすべての人が安全な環境で教育を受けられるよう、世界各国が

# 音楽科

## 「音楽科隊員として」 東部方面音楽隊 野田 真桜 陸士長

元気にしている姿を見て、私もみんなを助けられる、周りを笑顔にできる人になりたいと思いつきました。

Q2・現在の職務は？  
音楽手として音楽演奏を行っています。隊員の士気高揚、儀式、広報のための演奏を行い、自衛隊員や一般のお客様に向けて音楽で元気を届けています。

Q3・休日の過ごし方は？  
友人たちとそれぞれ楽譜を持ち寄って好きな曲を演奏したりご飯を食べたりして楽しんでます。のんびりカフェを巡るのも好きです。

Q4・今後の目標は？  
これから陸曹候補生として教育に入校するた

前職は地元のシティホテルで働くホテルマンでした。職業柄、さまざまな職業の方々と関わっていたので自衛官もその一つです。その中で一番時間を過ごし、かつ食事と飲み物を全て空にして帰っていたのが自衛官でした。そこに興味を持ち調べたところ「国の防衛」「災害

は群馬県へ異動し、機甲科への職種の変更を経て第12偵察戦闘大隊戦闘中隊で小銃分隊小銃手として勤務しています。訓練や取得すべき特技が大きくなりましたが、部隊

【平和と公正をすべての人に】として、あらゆる争いをなくし、その被害者となる人々を減らすことを課題としていきます。また2020年5月28日、国連総会は毎年9月9日を「教育を攻撃から守る国際デー」とする決議を採択し、紛争下における武力攻撃から教育を守り、紛争下においてもすべての人が安全な環境で教育を受けられるよう、世界各国が

今月のフェアレディは、東部方面音楽隊 野田 真桜(まお) 士長です。野田士長は熊本県出身の27歳です。小学生の頃の友達の姉がトロンボーンを吹奏している姿に憧れて吹奏楽部に入部し、トロンボーンと共に学生時代を過ごしました。



Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？  
出身地である熊本が地震で被災した際に、自衛隊員が多くの人を救助

今月の東方男児は、第12偵察戦闘大隊戦闘中隊所属の井上 颯馬(さつ) 3曹です。井上3曹は、群馬県前橋市出身の30歳で、現在は昨年新編された同大隊戦闘中隊の小銃分隊で小銃手として勤務しています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？  
前職は地元のシティホテルで働くホテルマンでした。職業柄、さまざまな職業の方々と関わっていたので自衛官もその一つです。その中で一番時間を過ごし、かつ食事と飲み物を全て空にして帰っていたのが自衛官でした。そこに興味を持ち調べたところ「国の防衛」「災害

【平和と公正をすべての人に】として、あらゆる争いをなくし、その被害者となる人々を減らすことを課題としていきます。また2020年5月28日、国連総会は毎年9月9日を「教育を攻撃から守る国際デー」とする決議を採択し、紛争下における武力攻撃から教育を守り、紛争下においてもすべての人が安全な環境で教育を受けられるよう、世界各国が

### 編集後記

「ブルースト効果」という言葉を聞いたことはありますか。あるにおいを嗅いだときに、そのにおいに結びついていて懐かしい記憶や感情が蘇る現象をいいます。私達人間には、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の五感がありますが、その中においや香りを感ずる嗅覚だけが、本能や感情を司る脳の部分にダイレクトに伝わるため、そのような現象が起こるそうです。(他の感覚は、理性的な思考を司る脳の部分に伝わるそうです。)花粉の時期にいうのもなんですが、目や耳ばかりを使った生活の中に、たまには鼻を使っていい香りを嗅ぐことを取り入れてみませんか？心地よいと感じる香りを嗅ぐと、理性と本能のバランスが良くなり脳が活性化することも言われています。

Q3・今後の目標は？  
現在、スキー指導官を目指しています。その為にも自分にとって足りない技能を伸ばし、上達するために積極的に情報収集し目標を達成したいと思っています。座右の銘である「克己知心」(己の心を知り克つこと)を胸に、立ち止まることなく陸曹として挑戦し続けたいです。